

ノ教授トナツタ。此処テ哲学概論ヲ講義シ。又一八
一二年——一八一六年="Wissenschaft der
Logik"ヲ出シタ。

一八一六年カラ一八一八年迄 Heidelberg 大学
ノ教授トナリ。一八一七年「哲学概論」ヲ著シタ。
一八一八年ベルリン大学ニ招カレ。夫レカラ此処テ
非常ノ勢ヲ得レマウニナツタ。色々ノ方面ノ講義ヲ
シタカ。一八二一年「法律哲学」ヲ出版シタ。此ノ
様ニテベルリンノミナラス他處ノ哲学ヲ支配シタ
カ。一八三一年流行病ノタメニ命ヲ失ツタ。

上ニ述ヘタ本ノ外ニ色々ノ講義ヲ集メテ、門人カ
十八卷(二十五冊)ノ全集ヲ出シテ居ル。其レノ中
ニハ歴史哲学、哲学史、宗教哲学、美学ヤ其外短イ
論文等カアル。

(2) Hegel 哲学小説

(a) Hegel ノ立場

Hegel ハ初メハ Schelling ト一致シテ居タカ、
元來此ノニ人ハ全ク性質カ違ツテイルカラ。一方カ
段々空想ニ走ルト共ニ、Hegel ノ論理的ノ精神ハ之
ニ満足スルコトカ出来ス。遂ニ全ク別レシマウニナ

ツタ。

Hegel ハ此ノ考ヲ「現象学」ノ序文テ説イテキル
即チ

(1) Schelling ノ「絶対」ハピストルカラ打出サレ
タモノノマウテアル。

(2) Schelling ノ「絶対」ハ黑暗ニキテ見テ皆黒イ
ト云フ極ノモノテアル。

(3) Schelling ノ説テハ、赤ト青トノニツノ色シカ
持タナイ繪畫キカ人ヲ赤ア、藍色ヲ青クアルト極
メタ様ノモノテアル。

ト云ツタ。

之ニ反シ (1) 絶対ヲ論理的ニ説明シナケレハナラ
ナイ。(2) 無理ニ一ツニシナイテ、何レカノ性質ヲ示
サネハナラナイ。(3) 唯分ケルノミテナク、關係ヲ示
サナケレハナラナイ。斯クシテ理性主義、觀念論
發展論(歴史主義)カ Hegel 哲学ノ特色トナル
其点カラ之ヲ論理的ノ觀念論又歴史的ノ觀念論ト名
付ケルコトカ出来レ。夫レ故ニローマンチツク派ノ
空想トハ離レテキルカ。然シ其ノ論理ヲ基トシテ凡
テノ世界ヲ一ツノ体系ノ中ニ入レマウトシタトコロ

ニ其ノローマンナツクノ精神ヲ示シテキレ。

斯カル目的ノタメニ Hegel ノ選ンテ方法ハ *Ben-syōhō* (*dialektische Methode*) ト云フモノテアル。

"*Dialektik*" ハギリシマ語テ「話ス」「議論スル」ト云フ意味ノ *abeycodav* カラ來テイルカ、ニ人ノ人ヲ議論スル代リニ一人ノ考ヘノ内ニ反對ノ意見カ出テイルモノト見テ、或ル概念ニ對シテ其ノ矛盾カ現ハレ、夫レヲ除キ去ツテ、新シイ概念カ出來ルモノトスルコトカ出來ル、即チ正理、反理、合理ノ關係ヲナンツ、進ミ行クモノテアル。斯カル關係ハ既ニカントノ判断及ヒ *kategorie* ノ評ノ内ニモ現ハレ (例ハハ分量ノ内第三ノ *Jansyō-handan* ハ初メノニツ即チ *Jansyō* 及ヒ *Johusyō* ヲ合セタモノテアル) 又 *Fichte* ニ於テハ更ニ廣ク發展ト結ンテ説イテアルカ。Hegel ハ此ノ發展ノ關係ヲ徹底的ニ説キ明カシ、更ニ進ンテ之ニヨツテ世界全体ヲ説明シヤウトシタ。夫レ故ニ此ノ關係ノ形ハ考ヘノ形テアルノミナラス、考ヘニ上ル實在ノ形テモアル言葉ヲ換ヘレハ、此ノ説ハ論理学テアツテ、又形而

上學テモアル。ソシテ一ツノ概念ハソレノ内ニ合マレル矛盾ニヨツテ否定セラレルカ同時ニ其内ニ保存カレテ新シイ上ノ立場ニ上レコトカ出來ルノテアル。即チ前ノ概念ハ後ノ概念ヲ生ミ出ス働キラスルカヲ持ツテキルトコロノモノ (カノ要素ニ *das Moment*) テ、ソレハ否定 保存 *kyōsin* (*Verneinen, bewahren, erheben*) ノ三ツノ働キラ持ツテ居ルモノテアル。斯カル三ツノ働キラ一度ニ示ス言葉ニ "*aufheben*" ト云フ独逸語カアルカラ、Hegel ハ此処ニ "*aufgehobenes Moment*" ト云フ言葉ヲ用ヒタ。

(B) Hegel 哲学ノ區分

Hegel ノ哲学ハ 論理学テ大レノ根本ヲ説キ得レノテアルカ。此ノ論理ハ唯概念其モノノ發展ヲ示スモノテアルカラ、之レカ發展シ盡シタトキニ、概念カ外ニ出ルヤウニナル、之ヲ自然ト云フ。斯クシテ第一ニ自然哲学カ出來ルカ。此ノ自然ノ概念カ發展ヲシ盡スト、又元ノ原理ニ歸リ、精神トナリ、此処ニ第三ニ精神哲学ヲ作レ。

論理学 自然哲学 精神哲学ニ Hegel ノ体系ハ完

能スルノチアルカ、意識カ此ノ哲学ニ違入ルニハ其ノ順序カ明カニサレナケレハナラナイ。斯クテ哲学ニ違入ル手引トシテ普通ノ感覺的ノ意識カラ哲学宗教ノ意識ニ進ム道行ヲ示スモノカ必要タトセラレ。"ephanom-enologie des Geistes"ハ即チ此ノ目的ニヨリテ作ラレタモノヲアル。即チ之ニヨリテ「対象カ意識」カラ自己意識ヲ経テ理性ニ至ル道ヲ個人ノ意識作用ヤ歴史ノ事実ヲ基礎トシテ論シテアル。

(3) 論理学

(a) 論理学ノ立場

論理学ハ考ヘト考ヘラレルモノ、即チ實在トノ根柢タル概念ノ学問ヲアル。此ノ概念ヲ純粹ナRinen (reine Idee) ト云フ。此ノIdeeノ現ハレル形即チ考ヘノ法則ヲKantianト呼フカラ。論理学ハKantianノ關係ヲ体系的ニ説クモノト云フコトカ出テ。即チVogelノ論理学ハ、カントノ列挙シテKantianノ必然的ノ連絡ヲ示スモノテ、夫レノ根本ニ於テ考ヘト物ニ合一ヲ認メテ居ル哲学ヲアル。シテ之ヲ變ノ対象トシテ先ツ(1)独断論ヲ返ケ

ルト共ニ(2)經驗論ト之ニ結ヒ付ケテ批評論トヲモナラス、カントノ知識ノ批評ヲ見ヌニ違入ラスシテ泳キヲ慣ラヌニトヘ、更ニ(3)直接ノ知識ヲ説クSchellingトモ反対シテ、批評的分析的即間接的ト直接的トヲ合セテモノカラ出テシヤウトシタ。即チ考ヘニ上ルモノテ而モ最も純粹ナモノヲ求めレハ、物カ「アル」(sein)ト云フコトニナル。論理学ハ此ノ「アル」ト云フ概念ヲ基トシテ夫レヲ分析シ、次第ニ外ノ概念ヲ導ク。ソシテ其ノ方法ハDialektikニ外ナラナイ。即チ、或概念夫レ自身ヲ外ノモノニ対サセテ新ニ見方ヲ開キ、更ニ又初メノ立場ト結ヒ付ケテ新シイ原理ニ移ル。之ヲ「夫レ自身」カラ「夫レ自身ニ対スルモノ」ニ移リ、ニツテ合セテ「夫レ自身ノ内ニアルコト」トナルト云フ。此ノ關係カラ論理学ヲ大ニク分ケテ、或ル物カ(1)其ノモノカ? (2)何カラ? (3)何ノ爲メニ?ト三通りノ見方ニ依ツテ考ヘラレルモノト見テ、(1)実在 (sein), (2)本質 (Wesen), (3)概念 (Begriff)ノ三ツノ部門ニスル。

(6) 論理学ノ梗概

1. 実有 (Sein)

先ツ「有ル」「有」(Sein)ノ概念ヲ考ヘルト夫レハ最も簡單、抽象的、直接ナルカ、最も發展セズ決定シテイナイモノナルカラ如何ナル性質モナイ、即チ其ノ点カラ見レハ「無」ナル。但ルト無イトハ同シト云ヘル、斯クンテ Seinハ矛盾ヲ引出シタカ、之ヲ調和シ、綜合スル概念ハ「ナル」(Werden)ト云フコトナル。ソシテ此ノ Werdenハアツテナイ移リ行キテアルカラ Werden自ラモ亦 Werdenニテ行ク、即チ「有ル」ハ「有ツク」ニナリテ了フ、斯クンテ「有ル」(Sein)ノ性質カ幾分カ「定マツテアル」モノトナル之ヲ *Sei-u* (*Dasein*)ト云フ。

"*Sei-u*ハ「性質」(*Qualität*)ノ *Hantyn*ノ最も明カニ示スモノナル。此ノ *Sei-u*ヲ「アルモノ」ト云フ概念カ定マルカ、此「アルモノ」ハ之ニ対スル「外ノモノ」ヲ導ク、ソシテ之等ノ關係ハ常ニ繰返サレルカラ、此処ニ「無限性」ト云フ關係ヲ生スル、然シ、此ノ無限ハ唯「際限カナイ」ト

云フコトテ、「悪イ無限」ト云フカ、之カ自分ノ中テ起ルト、此ノ無限ハ或物天レ自身ノ中ニ於ケル關係トナル、之カ真ノ無限ヲ示スモノナル、斯クンテ「大レ自身」ヲ外ト相對シテ而モ自分ニ立歸リ、「大レ自身ニ対スル」(*Fur-sich*)トナル、斯クンテ最早變化ノ無イモノトナル、變化ノナイモノハ性質ノナクナツタ「位置」ナル、斯クンテ性質ノ *Hantyn*ハ分量ニ必然的ニ移リ行クニテアル、即チかんとカ唯並ヘク *Hantyn*ノ間ニ關係ヲ附ケタノナル(此ノコトハ *Fichte*モ既ニ試ミテイルカ、*Hegel*ハ之ヲ完全ニ説イタ)

分量ニハ性質ノ差別カナイカラ、凡テノモノヲ唯一ツニツト教ヘ、之ヲ加ヘタリ、減ラントリスルコトカ出来ル、斯クンテ数学的ノ關係ヲ良ク見ルト、教ノ差別カ性質ノ變化ヲ件フコトカ認めラレル、斯クンテ (A)性質、(B)分量トヲ合せク、(C)質量(割合)ヲ得ル、此ノ質量カ出来ル、ソシテ之カ發展ヲ示セシ、今迄ノ概念ヲ盡ク *aufheben*ニテ、量ニ「アル」ト云フコト、其ノ本ノ性質ノ概念ニヨリテ明カニセラレルヤカナル。

2. 本性 (Wesen)

斯様ノ論法ヲ (2) 本質ト (3) 概念トノ色々ノ概念ヲ演繹スル。

本質論ハ (A) 反映 (B) 現象 (C) 現実ニ分レル。

(A) "Hansel" ノ内ニ普通ノ論理学ノ根本原理 (同一ノ差別、理由ノ原理等) カ演繹セラレ。此ノ理由 (基礎ノ根據) ノ概念カラ (B) 現象ト本体トノ關係ノ論ヲ導キ、之等ヲ合セテ (C) 現実性ヲ説ク。斯クシテ現実ニ論理的ノ意味カ説カレ。所謂「現実的ハ合理的、合理的ハ現実的」ト容レルノテアレ。

3. 概念 (Begriff)

sein ハ性質ノ決定セラレル事ヲ示シ、Wesen ハ統一ヲ示ス。此ニツテ合セタモンハ概念ヲアル。

Begriff (概念) ハ自ら決定スル同一ノ統一ニテアル。此ノ概念ノ論ハ分レテ三ツノ部トナル。(A) 習慣性、又習慣的ノ概念ハ狭イ意味ノ概念論ノ部分ニテ概念、判断、推論ノ三ツノ部ニ分レ、普通ノ形式論理ヲ *Dialektik* = ヨツテ關係附ケタモノニテアル。(B) 客観ハ謂ハハ自然ノ根本ヲ抽象的ニ説イタモノニテ物理的ノ機械的ノ性質、科学的ノ性質、生物ノ目的

性ノ三ツノ部ニ分レ、之ヲ前ノ習慣的ノ概念カラ導キ、更ニ夫レ等ノ關係ヲ説ク。(C) *Rinen* (*die Idee*) = 於テ此ノ *Teleologie* カラ發展スル關係ヲ説ク。夫レノ内ニハ生命ノ認識、絶対ニホソカアル。約シテ *Rinen* = 於テ論理学カ完結スル。

(4) 自然哲学ト精神哲学

(a) 自然哲学 (*die Naturphilosophie*)

Rinen ハ論理学ヲ夫レ自身ノ發展ヲ遂ケテキルカ、之カ *Dialektik* = ヨツテ外ニ向ヘハ、主観的カ客観的トナリ、自然哲学ヲ生スル。

自然哲学ハ大抵 *Schelling* ノ説ニヨツテ入ルモノニテ *Schelling* ト同シ弊害ニ陷ツテキル。大体 *mechanik physik, Organik* ト區別シテ自然ノ根本タル空間時間ノ論カラ進ンテ生物学ニ至ル迄ノ科学的ノ説明ニ論理的ノ關係ヲ説イタモノニテアル。

(b) 精神哲学 (*die philosophie des Geistes*)

自然ヲ發展シ盡セハ、之カ又已レニ歸ソテ來ル。即チ、自分カ一旦自分ノ外ニ出テ、又自分ニ歸リ

anund-rich-sein トナル 之レカ即チ精神テ
アル

Hegel ノ精神哲学ハ其特別ト論理ヲ離レテモ色々
々値打ノアル説ヲ含ンテイル 精神ヲ *An-sich*
即チ習慣的 *für-sich* 即チ客觀的 *An-und-
für-sich* 即チ絶対的ノ三ツノ見方カラ區別シテ
其ノ哲学ニモ大キク三ツノ部ヲ分ケル。

A 習慣的精神即チ個體的精神ノ哲学ハ、精神カ
未ダ物質即チ肉體ト結ヒ付イタ状態カラ進ンテ精神
ソノモノノ論ニ達スル道ヲ説クモノテ、人生学、
現象学、心理学ノ三ツノ部ニ分レル。

B 客觀的精神ノ哲学ハ、精神カ個體ヲ離レテ、
外ノ精神ト結ヒ付イタ場合ヲ説クモノテ、廣イ意味
ノ法律哲学或ハ社会哲学ト云フヘキモノテアル。

(a) 法律論ハ自由ヲ得マウトスル精神ハ外部生
活ヲ規定スルモノテ、夫レ自身ノ所有 他人ト對
スレ契約、相互ヒノ關係ヲ定メル刑罰ノ三ツノ段
ヲナシテ進ム。刑罰ハ法ノ否定ヲ否定スルモノテ
アル

(b) 此ノ精神ノ内部生活ニ關スルモノカ道德テ

アル。決心、回當テ、善意ノ三ツノ段ヲ含ム。

(c) 此習慣的ト道德ヲ客觀的ト法律ノ形ニシタ
モノカ社会制度テアツテ 之ヲ人倫ト云フ 其ノ
段階ハ家族、社会、國家テアツテ、國家ハ即チ道
徳生活ノ完結テアル。一ツノ國家カ其ノ任務ヲ盡
シ終レハ外ノ國家ニカカ移レ 歴史ハ之ヲ示スモ
ノテ、歴史哲学カ其ノ論理ノ時期ヲ分ツテ 東洋
ギリシヤ、ローマ、ゲルマントシタ。

C 客觀的精神ノ一々ノ内容ヲ統ヘ括リ 一ツノ
全体トシテ考ヘルト、ソレハ絶対的精神ノ段階ニ進
ム。夫レカ先ツ

(a) 直感トナツテ現ハレルトキニハ、美、藝術
トナル。其ノ現ハレ方ニ象徴的、典型的、ローマ
ンの三ツノ段カアリ 之ニ相當スル藝術カ夫レ
夫レニ相應スル時代ニ發達シテイタ *Symbolisch*
ハ形式カ *Rinen* = 勝ツ場合テ 古代ノ東洋諸國
ノ藝術、殊ニ建築ニ於テ良ク現ハレ *klassisch*
ハ形ト *Rinen* トカ一致スルトキテ、ギリシヤノ
藝術、殊ニ彫刻ニ現ハレル *romantisch* ハ中
世カラ次第ニ現ハレテ *Idee* カ形ニ勝ツモノ 繪

画、音楽、詩歌カ之ヲ示シテキレ。

(b) *Risen* カ *Hyōsyō* トナツテ理ハルレハ宗教トナル。之モ藝術ノ直感ニ高イモノカラ段々進ンテ行クノテ、自然宗教、精神的宗教、絶対的宗教ノ別カアル。

(c) 更ニ= 理性的トナリ *Idee* カ概念ノ形テ現ハレルトキニ、夫レカ哲学トナル。哲学ハ今迄ノ哲学史ノ内ニ次第ニ其意味ヲ表ハスモノテアル。斯クシテ哲学ノ体系ハ哲学其ノモノヲ演釋スルコトニヨツテ完結シタノテアル。

理性主義觀念論ノ反對

(1) 實在論

Hegel ノ哲学ハ一時独逸ノ哲学界ヲ斬リ統ヘテ趣キカアツタカ。其ノ裏ニハ亦反對カナイテモナカマツ。一ツハ彼ノ觀念論ニ對スルモノテ、一ツハ理性主義ニ對スルモノテアル。元來カ人とノ哲学ハ *Sing-an-sich* ヲ説イテキテ、必スシモ實在論ト綴リテモナク、ソシテ此ノ見方ハカ人とノ心理学ノオカラ鮮然スレモノト結ヒ付イテ行ク。

Jakob Friedrich Fries (1773-1843)

ハカ人とノ *Kritik* = 對シテ其ノ心理的ノ基礎ヲ説カウトシタノテ、其ノ説ハ心理主義ト呼ハレテ居レ「理性ノ新シイ批評」トノ長所カアル。其ノ頃ハ *Hegel* 等ニ在直セラレタカ。近頃 *Göttingen* ノ *Nelson* ナトニヨツテ「新 *Fries* 派」ノ運動カ起ツテ來タ。

Friedrich Eduard Beneke (1798-1854)

ハベリム大学ノ講師テアツタカ *Hegel* = 對シテ不平ヲ抱キ、此処ヲ去ラナケレハナラナカツタ。*Fries* ノ説ニ *Scotland* ノ哲学ニ從ツテ空想ニ流レル考ヲ退ケ、心ノ働キノ本ヲ根本ノ能カトシテ、其ノ色々ノ変リ方カラ凡テ心ノ働キヲ説明シ、之ヲ應用シテ道徳ニ教育ヲ論シタ。之等ノ人々ノ内テ最も勢ヲ得タハ *Johann Friedrich Herbart* (1776-1841) テアル。一八〇九年 *Königsberg* ノ教授トナツテ、一八三三年 *Göttingen* ニ移ツタ。哲学概論等ノ著述モアルカ。殊ニ心理学ヲ修學的ニ説カウトシタ点ニ於テ科学的心理研究ノ途ヲ開イタモノト云ヘル。

哲学ハ概念ノ学問ナルカ 此概念ハ経験カラ得
 ラレルモノヲ 其ノ間ニ矛盾トカアルカラ、之ヲ
 良ク取り去ラネハナラナイ。先ツ準備ノ学問トシテ
 形式論理学カアリ 次ニ哲学ノ本部タル形而上学カ
 アル ソノ内テ 先ツ(1)方法論ニ於テ概念ノ矛盾ヲ
 取り去ル方法ヲ説ク *Hegel*ノ *Dialektik* ト
 ハ遠ソテ全ク形式論理ト経験トカラ論シテ行クノテ
 アルカ 其ノ結果、實在ノ性質ヲ論スル所ニ進ム。
 之ヲ(2)本体論 (*Ontologie*) トス。本体ハ現象ニ
 相應シテ存在シナケレハナラナイ。即チ本体或ハ実
 在ハ澤山アルノテ 依テ *Herbart*ノ説ハ多元的実
 在論ナル。此實在ヲ物質ト精神トノニツニ分ケテ
 (3) *Psychologie* (4) *Ätiologie* トス。心理
 学ニ於テ心ノ働キヲ觀念即チ *Hyōsyō*ノ機械的ニ
 關係ニヨツテ説明シタノハ 今カラ云ヘハ想像カ混
 ツテイレコトナルカ 心理研究ニ物理学ノ方法ヲ
 導イテ試ミト見ナケレハナラナイ

斯ク経験ヲ解釈スルト共ニ 其値打ヲ批評スルコ
 トモアル 廣イ意味ヲ美ト愧トノ判断ヲスルコトヲ
 道德モ一種ノ美的判断ナル 道德ニハ五ツノ *Pri-*

*nen*ヲ標準トスル、内的ノ自由、*Kwanzen*。
Jinkei, *Seigi*, *Mukui*
*Herbart*ノ説ハ教育ノ上ニ應用サレテ、非常ニ
 勢カヲ持ツタ。

(2) 意思ノ哲学

*Herbart*ノ説ハ詳シク 明カテアルカ 其頃ノ
 外ノ哲学ノマウニ大仕掛ケナトコロカナイカラ、深
 サト廣サトニ於テ到底 *Hegel*トニ及ハナイ 故ニ
 世間ノ注意ヲ引カカツタカ、此処ニローマンナツ
 タ武士ノ標トシテ富ミ 而モ新シイ時代ノ理学ヲ
 取り入レテ、一ツノ哲学大系ヲ作り出シタ人カアツ
 テ 暫クニシテ非常ニ人氣ヲ集メレマウニナツタ。
 其人、*Schopenhauer*ナル 其ノ説ハかんと、
 寂りト人ヲ受ケ賦イテ、遠ク印度ノ思想ヲモ加ヘ、
 科学ト結ビ付キ 時代ノ悲觀的ノ精神ヲ基礎付ケル
 マウニ至リテ説イタノテ *Hegel*ノナツタ後
 ニ大イニ勢カヲ得シマフニナツタナル。

Arthur Schopenhauer ハ一七八八年 *Edm-*
*burg*ニ生レテ 商人タル父ニ依リテ諸方ヲ旅シ
 後 *Göttingen*ニ *Schulze*カカんとノ哲学ヲ教

吹サレタ。後バるりん大学ノ講師トナツタカ。He-
gel = 圧倒サレテ、大イニ不平ヲ感シ、夫レカラ自
分ノ書イタ本ノ中テ盛ニ大学教授ノ悪口ヲ言ッテ居
タ。其ノ著書ハ六卷ノ全集トナリ、近頃又新シイ全
集モ出来カハツテイル。主ナルモノハ

一八一三年 「*Jyūsoku-riyū* / 原理ノ四ツノ
ne = 付テ (Under die vierfache
Wurzeln des Satzes vom
zureichenden Grunde)

一八一九年 「意思及ヒ *Hyōsyō* トンチノ世界」
(Die Welt als Wille und Vorst-
ellung)

其外 "*Parerg und Paralipomena*" ト題ス
ル論文集ナトカアル。

Schopenhauer ノ考ヘハ大体一八一九年ノ本
ニ説イテアル。先ツ世界ヲ我々ノ認識ノ上カラ云フ
ト、唯我レノ *Hyōsyō* テアル。かんとノ云ツタヤウ
ニ、空間 時間 *Maatjū* = ヨツテ形作ラレタ世
界テアル。斯クシテ世界ハ此ノ仮リノ姿トナツテ知
ラレテキルカ。其ノ奥ニ本体カケレハナラナイ。

かんとハ之ハ知ラレナイトシタカ *Schopenhauer*
ハ自分ノ心ヲ省ミテ、之カラ推シテ行クコトカ出来
ルトシテキル。即チ心ノ本ニ意思カアルヤウニ、世
界ノ根柢ニハ又意思カケレハナラナイ。此ノ意思
ハ智カヲ備ヘナイモノテ、唯生キマウトスル意思ニ
外ナラナイカラ。夫レカ空間ナトテ個体トシテ現ハ
レル為メニ、其ノ間ニ争ヒカ起リ、常ニ苦シイ思ヒ
ヲ惹キ起シテ居ル。世界カ苦シミニ満チテ居ルノハ
世界ノ本体ノ性質ノ上カラ云フ得ナイコトテアル。
猶テ此ノ苦シイ世界カラ逃レルニハ、斯ク世界ノ
一人々々カ別レテイルト云フコトヲ考ヘナイヤウニ
スルノカ必要テアル。世界ノ車柄ヲ離レタモノト思
イテ、或ル觀念 (プラトンノ所謂 *Idee*) ト見ルナ
ラハ、其処ニハ我レモ彼レモ差別カナクナル譯テア
ル。物ヲ美ト見ルトキハ、下度物ヲ此ノ觀念ト見ルト
キテアル。見ル人 (主観) カ見ラレルモノ (客観)
ト対立セス。無我トナリ、意思ノ起ラナイモノトナ
レノテアル。故ニ自然ヲ美ト見ルトキ、此ノ美ヲ藝
術ニ現ハストキ、人ハ一時此ノ世界ノ苦シミカラ逃
レルコトカ出来ル。此処ニ藝術ノ哲学的ナ意味カア

ル。

然シ、藝術ハ未ダ一時ノコトデアレ 永久 絶対
的苦シミカラ逃レルニハ苦シミノ根源タル意思ヲナ
クナサナケレハナラナイ 道徳ノ行ヒテ同情ノ心ヲ
惹キ起セハ、之ニヨツテ意思ノソノメタツ有様カラ
離レルコトカ出来ルカ 之モ矢張り テアル 意思
ノ本体カ全ク無クナルヤウニシナケレハナラナイ
夫レヲ意思ノ否定ト云フノチ、印度ノ宗教ヲ哲学ニ
所謂「之レ汝ナリ」ノ精神ヲ行ヒ Nirvana = 入
ラナケレハナラナイ

此ノ考ヲ (1) Hyōsyo トシテノ世界 (2) 意思トシ
テノ世界 (3) Hyōsyo 界 カラ逃レル道 (4) 意思界
カラ逃レル道トシテ説イタ。

(終)

210

昭和二年二月廿八日印刷

(非賣品)

昭和二年三月三日發行

東京市本郷区本郷六丁目二番地

發行兼 印刷者 石田正七

同所 (帝大赤門前)

印刷所 文信社
電話小石川、三一四七番

1941
1927

14

784

14-784



1200501150866

×

複写

終